6/2 朝日

検査免除 入国者次々と

水際対策緩和 1日上限2万人に

政府は1日、新型コロナウイルスの水際対策を大幅に緩和し、1日あたりの入国者数の上限を2万人に倍増させた。成田空港では、感染リスクの低い国・地域からの旅客が検査を免除されて次々と入国。政府は訪日観光客の受け入れも10日に再開させる予定で、さらなる緩和も視野に入れる。

午前8時過ぎ、タイ・バンコク発の旅客機が成田に到着した。タイはワクチン接種の有無に関わらず、検査や待機が免除される国の一つだ。乗客のうち、出国前72時間以内の陰性証明書などのデータをアプリに事前登録した人は、スマートフォンの画面を検疫スタッフに提示し、検査が免除される列に並んで入国審査に向かった。

成田空港検疫所によると、これまでは到着から検査の結果が出るまでに2〜3時間かかり、混雑時は5〜6時間かかることもあったという。この日はスムーズに入国する様子が見られた。

政府はこの日の緩和を前に、検疫措置について、各国・地域の感染状況などから「流入リスク」の低い順に「青」「黄」「赤」の3グループに分類した。

検査も待機も免除する「青」は、98カ国・地域で、タイのほか、米国や韓国、中国などが対象。「黄」はインドなど99カ国・地域で入国時検査と3日間の自宅待機が必要だが、ワクチン3回目接種者はいずれも免除される。「赤」は、パキスタンなど4カ国で入国時検査と、検疫施設や自宅での3日間待機を求める。対象の国・地域は、感染状況を踏まえて随時、見直すという。

政府はまた、10日から訪日観光客の受け入れを約2年ぶりに再開させる。対象は感染状況が落ち着いている「青」の98カ国・地域で、1日の上限2万人枠の中で認める。国内の感染予防のため、まずは添乗員付きのパッケージツアーから受け入れる。

（青山祥子、森岡航平）

防日観光の再開に向けた実証ツアーで来日した米国の旅行会社の関係者ら＝2022年5月24日、成田空港

水際対策の3グループの主な国・地域

「青」区分　98カ国・地域 入国時検査も待機も免除。観光客も受け入れ	イタリア、英国、オーストラリア、カナダ、スペイン、韓国、台湾、中国、ドイツ、フィリピン、ブラジル、フランス、米国、香港、メキシコ、ロシアなど
「黄」区分　99カ国・地域 ワクチン3回目接種者以外は、入国時検査や3日間の自宅待機が必要	インド、ウクライナ、サウジアラビア、トルコ、ベトナム、ポルトガルなど
「赤」区分　4カ国 入国時検査や、検疫施設・自宅での3日間待機が必要	アルバニア、シエラレオネ、パキスタン、フィジー

■新型コロナウイルス感染者（6月1日午後7時半現在）

国内の確認 887万6747人（＋2万2768） 死者 3万659人（＋36）

	感染者	死者		感染者	死者
北海道	360009（＋1240）	2066	京都	204055（＋527）	717
青森	58003（＋242）	104	大阪	976863（＋1977）	5052
岩手	34893（＋182）	91	兵庫	425655（＋917）	2234
宮城	87221（＋348）	198	奈良	91246（＋214）	386
秋田	30520（＋82）	68	和歌山	42213（＋95）	117
山形	28596（＋104）	94	鳥取	15206（＋71）	20
福島	63627（＋171）	222	島根	16974（＋56）	15
茨城	158948（＋178）	439	岡山	98499（＋446）	248
栃木	91105（＋188）	273	広島	157735（＋616）	486
群馬	94535（＋202）	320	山口	44917（＋228）	176
埼玉	551259（＋702）	1607	徳島	22227（＋78）	84
千葉	450269（＋635）	1778	香川	48282（＋158）	127
東京	1542723（＋2415）	4507	愛媛	39794（＋200）	139
神奈川	755046（＋1131）	2203	高知	27717（＋110）	113
新潟	72092（＋254）	91	福岡	426302（＋1129）	1256
富山	37430（＋135）	93	佐賀	52514（＋136）	105
石川	55957（＋253）	196	長崎	58999（＋388）	124
福井	35388（＋142）	45	熊本	98788（＋510）	292
山梨	32765（＋137）	68	大分	54376（＋273）	160
長野	73688（＋257）	200	宮崎	53157（＋357）	142
岐阜	100448（＋453）	338	鹿児島	83302（＋498）	199
静岡	170779（＋602）	411	沖縄	216728（＋1472）	460
愛知	543942（＋1642）	2067			
三重	82445（＋316）	301	その他（空港検疫など）	1万9561人（＋107）	死者8人
滋賀	90953（＋195）	219			

入院・療養中　24万764人（－1万4171）　うち重症　95人（＋2）
退院・療養解除　856万2667人（＋3万1608）（1日午前0時現在）

総数 887万7470人（＋2万2768）　死者 3万672人（＋36）

感染者数は「疑似症患者（みなし陽性者）」を含む。自治体による過去の修正内容も反映。カッコ内は前日との比較。都道府県と厚労省の発表は一部重複。再陽性は延べ人数で計上。総数はダイヤモンド・プリンセス乗船者を含む

■ワクチン接種（1日、政府の発表から）

	1回目	2回目	3回目
総接種数（接種率）	1億357万3600（81.8%）	1億206万3500（80.6%）	7503万3687（59.2%）

子どもに過度な対策 求めず

専門家組織 国に提言

新型コロナウイルス対策を厚生労働省に助言する専門家組織は1日、子どもに過度な感染対策を強いることで、遊びと学びの機会を奪うことがないように求める提言をまとめた。政府による対策をおおむね支持しながら、「第6波」では子どもの感染者のほとんどが軽症だったことから、現実的な対応を訴えた。

提言では、マスクによって学校での感染を減らす効果は23%だったとする米国の調査を引用。着用を場面で判断するべきだとした。

また、休園や休校は子どもの発育や発達を阻害するとし、学習能力の低下が社会的な損失につながるおそれも指摘した。「失われた時間や経験は後から取り返すことはできない」と強調した。

また医療現場への負担を減らすため、子どもに検査を求めるのは症状がある場合に限るべきだとした。

（市野塊、枝松佑樹）

感染1年後も「後遺症」1割

新型コロナウイルスの感染後に症状が長引く「後遺症」について、中等症以上で入院した感染者のうち1年後も倦怠感や息苦しさなど何らかの症状を訴える人が1割超いたことが、日本呼吸器学会の調査でわかっ

主な症状は筋力低下が9・27%、呼吸困難感が6%、倦怠感が4・9%などだった。胸部のCT検査では、6・3%の人に12カ月後も異常が見られた。

研究代表者の横山彰仁・高知大教授は「重症度が高かった人ほど、筋力低下や呼吸困難の後遺症が残る割合が上がった」と話した。

後遺症が続いた中で、12カ月後の受診時点で何らかの治療を受けていた人は17%にとどまった。横山教授は「コロナの場合、強い筋力低下があっても、ごく一部の人しかリハビリを受ける形になっていない」と話し、長期にわたる医療支援が必要だとした。

（足立菜摘、熊井洋美）